

居合道たより 22号



# 居合道ながさき



## <啓蟄も驚き吾も驚きぬ 和田魚里・啓蟄(けいちつ)>

啓蟄は「春の陽気を感じ、地中で冬ごもりしていた虫が動き出し、はい出してくる季節」と言われています。啓蟄の時期は2021年は節気において三番目に訪れる節気です。今年は3月5日(金)頃に訪れ、その期間は啓蟄の日から次の節気である春分の日の前日までとなります。南の地域では春が訪れ、北国は春を待ち焦がれている。現代日本での啓蟄は、そんな時期のように感じます。



写真：紅く色づく桃の花

「蟄虫啓戸(すごもりむしとをひらく)」

地中で冬ごもりをしていた虫たちが、土の扉を開け広げて、出てくる季節を表しています。すみれやれんげ草が咲き始め、春らしさが増してくる時期でもあります。

昨年から新型コロナウイルス感染対策で居合道のほとんど講習会や大会なども中止となり、行動を制約された時間を過ごしています。ワクチンの接種も2月中旬から始まり、徐々に日常化がもどりつつあり、暗闇の中に明るい陽射しが射してきました。このような時期こそ体幹などの身体づくりや稽古の基礎基本を大事にして、本来の居合道の楽しみ方で過ごすのも良いのかもしれない。

## お知らせ(1)・・・春季居合道講習会及び春季居合道級位審査会

令和2年度春季居合道講習会及び春季居合道級位審査会を開催致します。

- 1 期日 講習会：令和3年3月28日(日)10:00~16:00  
審査会：令和3年3月28日(日)16:00~
- 2 会場 長崎市立福田中学校体育館(長崎市福田本町1430-1)
- 3 講師 講習会：居合道七段
- 4 内容 (1)全剣連居合の解説と指導(2)基本、姿勢 (3)術技
- 5 携行品 全剣連居合道解説書 メモ帳 筆記用具

## お知らせ(2)・・・春季居合道段位審査会及び春季居合道講習会

令和3年度居合道段位審査会及び春季居合道講習会を開催致します。

- 1 期日 審査会：令和3年4月4日(日)10:00~12:00 (9:00受付)  
講習会：平成3年4月4日(日)13:00~16:00
- 2 会場 諫早市小野体育館(諫早市黒崎町170-3 TEL:0957-21-5150)
- 3 講師 講習会：居合道七段
- 4 内容 (1)全剣連居合の解説と指導(2)基本、姿勢 (3)術技  
(4)審判法講習会
- 5 審査会 ※10時開始
- 6 審査要領 学科 段位受験者全員に対して行う。  
実技 初段、二段、三段は全剣連居合5本(当日指定する)  
四段、五段は古流1本(技は自由)、全剣連居合4本  
制限時間6分(始め及び終わりの礼式を含む)
- 7 申込み 令和3年3月20日(土)まで申込書(令和専用申込書)を事務局へ提出  
※三段受審者は平成30年(2018年)12月以前二段合格者  
※申し込み用紙が変更になっています。要注意!!
- 8 筆記問題  
<初段、二段、三段>  
1)あなたが居合道を始めた理由及び目的について述べなさい。(50点)  
2)三本目、五本目の「要義」を述べなさい。(25点)  
3)刀を図示し各部の名称を書きなさい。(25点)  
<四段、五段>  
1)居合道修業上大切にしている事指導上大切だと思うことを述べなさい(50)  
2)携刀姿勢と着座について述べなさい。(25点)  
3)気剣体の一致について述べなさい。(25点)

## お知らせ(3)・・・県剣連会費及び居合道部会費納入について

### <長崎県剣道連盟年会費及び居合道部年会費納入のお願い>

令和3年度長崎県剣道連盟年会費と居合道部年会費を併せて納入お願い致します。

- 1 長崎県剣道連盟年会費  
四段以上は2,000円 ②三段以下は1,000円 ※学生(小中高大)は免除
- 2 県居合道部年会費  
一般1,000円 ②学生(小中高大)は免除
- 3 納入期日 4月末日までに納入、又は直接事務局(三根宛)へ振り込み

## 道場紹介(3)・・・修道塾(西彼杵郡長与町)

修道塾(西彼杵郡長与町)では毎週金曜日の20時より22時まで西彼杵郡長与町武道館2Fで全日本剣道連盟居合を中心に稽古をしています。少ない人数でコツコツ稽古をやっていますが、興味がある方は見学に来て下さい。一緒に居合をやりましょう!!

流派は夢想神伝流です。時間があるときは日本剣道形の稽古もしています。各種大会や講習会にも積極的に参加しています。主なものは長崎県居合道段別選手権大会出場や長崎県剣道連盟居合道部が主催する年間5回居合道講習会と年間2回、春と秋に開催されている段位審査(初段～五段)や級位審査(一級まで)も受審しています。その他にも大阪居合道大会や北九州居合道大会にも出場しています。これから居合道をはじめようかと考えている皆さん方、是非、修道塾ホームページ(下記にURL表示)にて活動などをご覧ください。

修道塾(西彼杵郡長与町)では、随時、塾生を募集しています。やってみたいけど、続けられるか不安・・・とか、どんな感じで稽古をしているのか気になった方、興味のある方、ぜひ見学に行ってみてください、体験入門できるシステムもあるそうですので、お気軽にご連絡ください。

連絡先: 中村政樹 居合道四段

ホームページ URL: [修道塾\(居合\) \(shudojuku.blogspot.com\)](http://shudojuku.blogspot.com)でも閲覧可



長与町武道館で日本剣道形稽古



大阪居合道大会三段の部優勝 中村選手



出稽古で演武 樋渡彰五段



大阪居合道大会 演武 中村政樹四段

## 長崎の古流(1)・・・神道無念流(しんとうむねんりゅう)

長崎県剣道連盟居合道部に所属する道場では全日本剣道連盟居合の他に古流の業を伝統継承しています。大きく分けると夢想神伝流(むそうしんでんりゅう)、無双直伝英信流(むそうじきでんえいしんりゅう)、神道無念流(しんとうむねんりゅう)、知高流(ちこうりゅう)などがあります。ここでは大村藩に伝わる神道無念流(しんとうむねんりゅう)を紹介いたします。

<<神道無念流(しんとうむねんりゅう)>>

日本の剣術の流派です。宝暦年間(1751年 - 1764年)頃に福井兵右衛門嘉平によって創始されました。「立居合」という居合も含まれますが、実際に立居合も学んだ者は極めて少なく、免許皆伝に至った者でも大部分は剣術のみを修めた者であったそうです。

斎藤歎之助(斎藤弥九郎の三男)が嘉永4年(1851年)に大村藩に仕え、嘉永7年(1854年)に練兵館塾頭だった莊勇雄とともに江戸詰から大村に移ったことにより、一刀流、新陰流の稽古が廃止され、神道無念流に統一されました。藩主大村純熙は歎之助の屋敷内に「**微神堂**」の道場を与え、「**微神堂**」から渡辺昇、柴江運八郎を輩出しました。

渡辺昇は江戸へ出て練兵館塾頭を務め、明治維新後は大日本武徳会の発起メンバーとなり、近代剣道界の発展に努めました。

柴江運八郎は大阪府警察部に勤務後、大村に帰郷し微神堂で剣術を指導しました。柴江の後は、寺井市太郎—寺井知高と伝えられ、寺井知高は東京で中山博道にも師事し、(大村市)にて伝承されています。

この系統の立居合は、他の系統よりも動作が簡略化されているのが特徴です。福井嘉平—戸賀崎暉芳—岡田吉利—斎藤弥九郎—斎藤歎之助—柴江運八郎—寺井市太郎—寺井知高



故 宮崎勝次 先生(雲仙市)



田口春男 先生(生武館)



中野武士 先生(生武館)